

バナナペーパーってなに？

What's Banana Paper?



バナナペーパーとは！

アフリカ・ザンビアのオーガニック畑のバナナの木は一度収穫すると切り取られ廃棄されていました。そのバナナの茎から繊維を取り出し、紙を作ります。普通の紙に使う木の成長は10~30年ですが、バナナは1年で成長します。貧困問題・森林伐採・絶滅危惧種の減少など、地球が抱える様々な問題を解決出来る紙、それがバナナペーパーです。



オーガニック畑からバナナの茎を買い取る。以前は茎を川に流すなど、廃棄していた。ヘビやサソリの住処にもなっていました。



バナナの茎はトラックで作業所に持ち込みます。



繊維を取り出す作業台の長さ約1mに切る。力作業ですが、男女協力してやっています。



専用の器具を使ってバナナの茎から水分を取り、繊維を取り出す。
※2013年ミヤザワの専務も現地で体験しました！

バナナペーパーが出来るまで

アフリカ大陸



ザンビア
Zambia

首都…ルサカ
言語…英語、ベンバ語、ロジ語
他約70の現地語
人口…約1167万人
※出典…ザンビア大使館 HP



バナナの繊維は福井の和紙工場ではバルブにし、古紙と環境配慮型バルブと混ぜてバナナペーパーになります！



建物に保管。一定の量になったら日本へ送ります。



1日に取り出した繊維は計量する。天井から吊り下げられた樽測りで計測。ノートに1日の収穫量を記入。



取り出した繊維を天日で乾燥させる。空気が乾燥して日当たりがいいので、あっという間に繊維は乾きます。

1枚の紙が未来を変える

How a piece of paper can create a better future.

未来を変える紙

バナナペーパーは、地球が抱える様々な問題を解決する環境に優しい紙です。日本初のフェアトレード認証を取得した、人にも優しい紙でもあります。ミヤザワはこの一枚の紙が未来を変えると信じて、卒業証書や筒・ホルダーなどを作っています。人・動物・地球がハッピーになれる紙がバナナペーパーです。



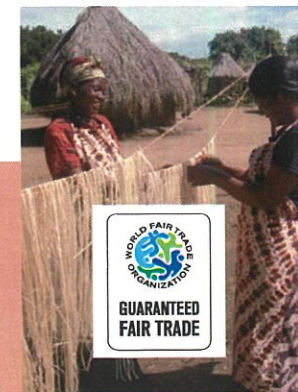
森林・野生生物を保護する

バナナペーパーの故郷ザンビアでは美しい自然と野生動物が多く生息しています。一方、現地の人たちの貧困が原因で、密猟や違法での森林伐採という問題が起きています。その問題を解決する一つとして現地に安定した雇用を生み出す事です。バナナペーパーを作る段階に必要な繊維の採取・乾燥・梱包。これらの労働で得た収入により密猟・違法森林伐採を止める手助け、生物多様性を守る事に繋がります。



多くの人が教育を受けられる

ザンビアでは女性の40%が学校に行けません。また、ザンビアの人々の平均寿命は約55歳。病気になっても病院に行く事も出来ずにいました。しかし、バナナペーパーの仕事により、女性が教育を受ける事が出来、子供たちを学校に通わせる事も出来ます。バナナペーパーの収入で、病院に行ったり、マラリアを予防する蚊帳を買ったり、電気のない家にソーラーランプの灯りが点きました。



持続可能な開発目標 x バナナペーパーの取り組み

アフリカの農家や人々、日本の和紙工場、印刷会社、紙製品メーカー、サステナビリティ専門家のコラボで生まれた紙です。

アフリカの最貧困層の人たちに雇用を生み出し、フェアトレードを行っています。

フェアトレードの考えに基づき、自由に意見やアイデアを出すことができる文化を大切にしています。

栄養を考えた朝食とランチを無料で提供しています。

バナナペーパーの雇用により、象などの絶滅危惧種や野生動物の密猟を防いでいます。

村の人々に衛生・健康について教育しています。

水汚染につながる化学物質やプラスチックの使用を削減しています。

雇用のおかげで子どもが学校に通えるようになりました。
バナナペーパー工場では、SDGsについて教育しています。

バナナ繊維の活用によって、森林を守ります。

チームリーダーの半分为女性で、活躍しています。

バナナペーパーは日本初のフェアトレード認証の紙です。

村の人々に安全な水を無料で提供しています。

従業員に自転車を無償で提供しています。

バナナペーパーの生産の一部には、ソーラーなど再生可能エネルギーを使用しています。

様々な国籍や宗教の人々が共に働いています。

仕事に誇りを持ち、スキルを高められるよう、様々なトレーニングを行っています。

サステナブルな紙産業のためのイノベーションに取り組んでいます。





Banana
&
Planet